

7. 本時のねらいと展開

| | | | | |
|--|---|---|--|--|
| 本時のねらい | (3位数) - (3位数) でくり下がり1回の筆算の仕方を考え、その筆算をすることができる。 | 本時のねらい | 変わり方の様子がよくわかる折れ線グラフのかき方を考えて、工夫した折れ線グラフをかくことができる。 | |
| 話す力 | 筆算の仕方を、相手にわかりやすく説明することができる。 | 話す力 | 自分の考えを仲間の中で堂々と話すことができる。 | |
| 教師の支援 | 学 習 活 動 | 位 置 | 学 習 活 動 | 教師の支援 |
| <p>・プリントを用い、効率よく前時の復習が行えるようにする。</p> <p>・学習リーダーの確認をし、本時は誰が中心になって答え合わせをするか全員が意識できるようにする。</p> <p>・掲示資料を準備し、既習事項を利用しながら課題につながる考えが持てるようにする。</p> <p>また、既習事項の確認により、本時学習する内容の基礎・基本をおさえる。</p> <p>・お互いに聞き合うときの視点を明確にしておく。 【説明がわかりやすかったか】</p> <p>相手の考えを最後までしっかり聞きよさや違いを認め合うことができる</p> <p>・わかりやすい説明をした児童を指名し、認める。</p> <p>・くり下がりでとまどう場合には筆算の仕方を、「□の位から引けないので、□の位からくり下げる。」と百の位からくり下げればよいことに気づけるように与える。</p> <p>自分の考えに自信を持ち、わかりやすく説明することができる。</p> <p>・練習問題を解くことで、学習内容定着の確認を行う。</p> | <p>1. たし算の筆算の復習をする。(プリント) 学習リーダーを中心に答え合わせをする。</p> <p>2. 課題をつかむ。 ・ひき算の例題に取り組む。 ・例題をもとにして、計算練習をする。 (2位数) - (2位数) など ・課題に関わる問題を提示する。 (3位数) - (3位数) で十の位からくり下げ</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">3けたのひき算で、筆算の仕方を考えよう。</div> <p>3. 自分の考えを明確にし、筆算の仕方をおさえる。 ・ノートに自分の考えを書く。 ・友だちに聞いてもらい、よいところを認め合う。</p> <p>4. 筆算の仕方を確認する。 一の位から引けないので、十の位からくり下げる。</p> <p>5. 応用問題に取り組む。 (3位数) - (3位数) で百の位からくり下げ ・ノートで筆算を行い、問題を解く。 ・ボードに筆算をかき、解き方を発表し合う。</p> <p>6. 応用問題の解き方を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> ・一の位から計算する。 ・十の位から引けないので、百の位からくり下げる。 </div> <p>7. 練習問題を行う。 学習リーダーを中心に答え合わせをする。</p> <p>8. 次時の確認をする。</p> | <p>つかむ</p> <p>つかむ</p> <p>深める</p> <p>広げる</p> <p>まとめる</p> | <p>1. 前時の復習をする。(掲示資料) ・全員で順序を確認しながら作業する。</p> <p>2. 課題をつかむ。 ・完成した折れ線グラフから、変わり方のようすを読み取る。 ・本時取り組むことがわかる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">変わり方の様子がもっとよくわかる折れ線グラフを工夫してかこう</div> <p>3. 自分なりの考えに沿ってグラフをかく。</p> <p>ヒントコーナー 発展コーナー を活用する。 一部に目もりの数字を入れ、残りに幅を変えた□をおいたプリント</p> <p>4. 学習リーダーを中心に、全員の考えを交流する。</p> <p>5. プリントを用いて、学習のまとめをする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">目もりの大きさを大きくすると、変わり方のようすがわかりやすくなる。</div> <p>グラフの波線部の意味をおさえる。</p> <p>6. 練習を行う。 学習リーダーを中心に答え合わせをする。</p> <p>7. 次時の確認をする。</p> | <p>・問題文などを掲示し、児童が見通しを持って取り組めるようにする</p> <p>・前時までの学習内容を掲示し、いつでも振り返られるようにしておく。</p> <p>・ヒントコーナーをおき、折れ線グラフをわかりやすくするには、目もりの大きさを変えるとよいことに気づくことができるようにする</p> <p>・発展コーナーをおき、作業が早く終わった児童が自分の考えをより深めることができるようにする。</p> <p>折れ線グラフのかき方の工夫について、自分なりの考えを持って話し合いにのぞむことができる。</p> <p>・工夫にはいろいろな方法があるということをおさえ、多様な意見が出しやすいようにする。</p> <p>仲間の考えを認め合いながら意見交流をすることができる。</p> <p>・練習を行うことで、学習内容定着の確認を行う。</p> |